

2020年度
桐朋学園大学
大学院 音楽研究科 音楽専攻
修士課程

学生募集要項



Toho Gakuen Graduate School of Music
TOKYO

桐朋学園大学大学院 音楽研究科 音楽専攻
修士課程 学生募集要項

目 次

アドミッション・ポリシー.....	1
学生募集要項.....	1
1. 募集人員.....	1
2. 試験日.....	1
3. 試験会場.....	1
4. 出願資格.....	1
5. 出願書類.....	2
6. 出願書類記入上の諸注意.....	2
7. 出願手続.....	4
8. 試験実施日程、試験科目及び注意事項.....	4
9. 実技試験課題.....	6
10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付.....	8
11. 入学の条件.....	9
12. 入学手続について.....	9
13. 入学金・授業料等について.....	9
カリキュラムについて.....	10
カリキュラム・ポリシー.....	10
学位及び資格.....	12
授業科目および単位.....	12
大学院音楽研究科 修士課程 指導陣 (2019年度ー参考).....	13
特待生および奨学金制度、学生会館について.....	14
特待生制度.....	14
奨学金制度.....	14
学生会館.....	14
学生募集要項全般に関する問い合わせ先.....	14
交通機関案内図.....	15

個人情報の取扱について

出願にあたって記入していただいた、氏名・住所・その他の個人情報は、個人情報保護法に則り、万全の体制で管理いたします。

アドミッション・ポリシー

本学大学院修士課程が定める「アドミッション・ポリシー」は以下の通りである。すなわち、以下のことが確認された者に対して、修士課程の入学を許可する。

大学院修士課程は、高度に専門的かつ広汎な視野に立ち、音楽についての学識と技術をもった音楽の実践や教育を行う人材の養成を目的としている。この教育理念に基づき、音楽に関する見識、技術を有し、なおかつ幅広い視野から知的な関心や柔軟な感性を育むことのできる人材を求めている。

学生募集要項

1. 募集人員

専攻	コース	募集人員
音楽	ピアノ	45名
	弦楽器（ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス）	
	声楽	
	作曲	
	音楽学	

※ 標準修業年限は2年（4年まで在籍できます）。

※ ピアノコースは「ソロ」「歌曲伴奏」「コレペティツィオン」のいずれかを、
声楽コースは「オペラ」「歌曲」のどちらを中心に学ぶかを選択。

2. 試験日

2019年11月9日（土）・10日（日）

3. 試験会場

桐朋学園大学 調布キャンパス 1号館 （調布市調布ヶ丘1-10-1）

4. 出願資格

出願できる者は、次の各項の一つに該当する者とする。

1. 学校教育法 第83条に規定する大学を卒業した者、又は2020年3月末日までに大学を卒業見込みの者。
2. 学校教育法 第104条 第4項の規定により、学士の学位を授与された者、又は2020年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2020年3月末日までに修了見込みの者。

4. 文部科学大臣の指定した者。
5. 2020年3月末日で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学が所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。
6. 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本学入学前（2020年4月1日）までに22歳に達する者。

◎注 出願資格5. 6. によって出願する場合は、事前に入学資格認定審査を行うので、2019年9月27日(金) 午後4時30分までに、本学まで問い合わせること。(P.14 参照)

5. 出願書類

出願書類一式：

- 1) 志願票
- 2) 受験曲目票(作曲、音楽学コースの者は提出不要)
- 3) 作曲作品(任意の2作品の楽譜)(作曲コースのみ提出)
- 4) 研究計画書
- 5) 出身大学発行の成績証明書(本学学部を卒業した者・卒業見込の者は提出不要)
- 6) 出身大学発行の卒業(又は卒業見込)証明書(本学学部を卒業した者・卒業見込の者は提出不要)
- 7) 履歴書
- 8) 検定料振込の銀行領収印のある納金票の①票(受験証)
- 9) 受験証返送用封筒(362円分の切手貼付/受取人住所、氏名等明記のこと)
- 10) 出願書類一式提出用封筒(切手貼付/差出人住所、氏名等明記のこと)

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出すること。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とする。

※以下の項目に該当する場合、事前に本学に連絡すること。

- ・身体に障がいがあり、受験上の特別な措置が必要な場合(2019年10月4日(金)まで)
- ・不慮の事故等により、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合

6. 出願書類記入上の諸注意

- ・提出する書類への記入は楷書とすること。
記載にあたっては、書式に記されている注意事項等を順守すること。

志願票	
楽器略語・コード	「楽器略語・コード」表に従って記入する。
氏名	戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。
生年月日	西暦で年月日を記入する。2020年4月1日現在の年齢を合わせて記入する。
性別	男、女 を○で囲む。
本人連絡先等	入学手続書類等の送付先にもなるので、郵便番号、住所、電話番号等を正確に記入する。 自宅TEL・携帯TEL・FAX の環境がない場合は「なし」と記入する。 メールアドレスは「@tohomusic.ac.jp」からのEメールを受信できるアドレスを記入する。
出願資格(出身大学)	出身大学の学校区分、名称、専攻、卒業(卒業見込)年月について記入する。 出願資格4.5.6.により出願する者は記入不要。
受験希望外国語	英語・独語・仏語・伊語の中から1カ国語を選択し、○で囲む。 <u>当日これを変更することはできない。</u>

実技担当希望教員	本学において決定するが、希望がある場合は希望教師名を記入する。 ただし、希望通りにならない場合がある。
写真	タテ4cm×ヨコ3cmの大きさで3ヶ月以内に撮影した背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「受験証」にも同じ写真を貼ること。

受験曲目票									
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する								
コース選択	実技試験課題を参照。ピアノと声楽は研究内容により、異なる試験課題を選択する。 ピアノは(1)・(2)・(3)のいずれか、声楽は「オペラ」・「歌曲」のいずれかを○で囲む。								
曲目の記入方法	課題記号・番号を()内に記入し、演奏曲目を具体的・詳細に記入する。 <u>出願後の受験曲目等の変更は認めない。</u> (記入例) ピアノコースで<歌曲伴奏>を選択する場合の記入例 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>コース選択</td> <td>ピアノ：(1)・(2)・(3)</td> </tr> <tr> <td>課題記号・番号</td> <td>(a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)</td> </tr> <tr> <td>課題記号・番号</td> <td>(a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cacilie Op.27-2</td> </tr> <tr> <td>課題記号・番号</td> <td></td> </tr> </table> <p>※<歌曲伴奏>の課題 (a) に関して、受験曲目票には演奏順に記入すること。</p>	コース選択	ピアノ：(1)・(2)・(3)	課題記号・番号	(a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)	課題記号・番号	(a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cacilie Op.27-2	課題記号・番号	
コース選択	ピアノ：(1)・(2)・(3)								
課題記号・番号	(a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)								
課題記号・番号	(a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cacilie Op.27-2								
課題記号・番号									
伴奏者・共演者氏名	受験曲に伴奏者・共演者が必要な場合は、伴奏者・共演者の氏名を記入する。								

研究計画書	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する
研究テーマ 等	入学後の研究テーマ等を具体的に記入する。

履歴書	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する
学歴	高等学校から最終出身学校まで記入する。
職歴	職歴がある場合は記入する。
音楽歴	これまでに師事した先生やコンクール入賞歴等を簡潔に記入する。欄が不足する場合は裏面を使用しても良い。

受験証返送用封筒	
362円分の切手を貼付し、配達先の住所と専攻する楽器名等を記入する。	

出願書類送付用封筒	
出願書類一式が「出願書類送付用封筒」に入らない場合は、各自で用意した封筒を使用して送付する。	

7. 出願手続

◆「出願書類一式」の提出：

前記5.1)～9)を「出願書類送付用封筒」に封入し、指定期日まで下記あてに速達で郵送のこと。

受付期間：2019年 10月15日（火）～ 10月18日（金） 期間内必着（郵送に限る）

[宛先] 〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1 桐朋学園大学 事務局入試係

◆入学検定料の納入：

出願書類の提出に先立って、出願者は「検定料納金票」を切り離さず、本学指定の銀行（振込通知書・振込依頼書に記載）へ当該金額（30,000円）を振り込むこと。

その際「①～③」に銀行収納印の押印を受け「③～④」は銀行保管、「②」（領収証）は出願者が保存し「①」（入学試験受験証）のみを他の出願書類と共に提出すること。

◎注 受験を取り消した場合、入学検定料は返還しない。

8. 試験実施日程、試験科目及び注意事項

1) 選抜方法

次の試験科目の試験結果、および出身大学の成績を総合的に判断して選抜する。

2) 試験実施日程及び試験科目

◇ピアノ、弦楽器、声楽コース

2019年11月9日（土）	2019年11月10日（日）
実技試験	外国語試験（時間：90分）9:30～11:00
口述試験	音楽史試験（時間：90分）11:45～13:15

※ 11月9日（土）実技試験・口述試験の集合時間は、本学から事前に郵送で通知する。
ただし、実施日の3日前までに連絡のない場合は、本学まで問い合わせること。

※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」に記載するので、確認すること。

試験科目	概要等
1. 実技試験	試験課題は「9. 実技試験課題」を参照。 伴奏者・共演者が必要な場合は、各自で同伴すること。
2. 口述試験	出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。
3. 音楽史試験	試験時間90分／西洋音楽史
4. 外国語試験	試験時間90分／英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。 語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類（電子辞書、携帯電話等）の持ち込みは不可。

◇作曲コース

2019年11月9日(土)		2019年11月10日(日)	
口述試験	13:00～	外国語試験 (時間:90分) 9:30～11:00	音楽史試験 (時間:90分) 11:45～13:15

※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」に記載するので、確認すること。

試験科目	概要等
1. 口述試験	提出された作曲作品及び出願書類「研究計画書」に基づく口頭試問を行う。
2. 音楽史試験	試験時間90分／西洋音楽史
3. 外国語試験	試験時間90分／英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。

◇音楽学コース

2019年11月9日(土)		2019年11月10日(日)	
小論文試験 (時間:90分)	10:00～11:30	外国語試験 (時間:90分) 9:30～11:00	音楽史試験 (時間:90分) 11:45～13:15
口述試験	13:00～		

※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」に記載するので、確認すること。

試験科目	概要等
1. 小論文	試験時間90分／専門に関わる小論文
2. 口述試験	小論文及び出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。
3. 音楽史試験	試験時間90分／西洋音楽史
4. 外国語試験	試験時間90分／英語・独語・仏語から1カ国語を選択。語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。

※ 志願票は、各コース共通のため「伊語」の記載があるが、音楽学コース志願者は選択出来ない。

9. 実技試験課題

◇ピアノコース

次の(1)(2)(3)のいずれかを選択し、その課題を演奏すること。

ピアノ独奏曲を主に研究する者は(1)を、歌曲伴奏を主に研究する者は(2)を、コレペティツィオンを主に研究する者は(3)を、選択すること。

(1) <ピアノ独奏曲を主に研究する>

次の(a),(b),(c)を演奏すること。全体で30分程度とする。

(a) バロックから古典派の作品

(b) ロマン派以降の作品

(c) F.Chopin, F.Liszt, C.Debussy, S.Rachmaninoff, A.Scriabin, B.Bartók, S.Prokofieff, G.Ligeti
の練習曲より1曲

*暗譜で演奏すること。

*ピアノ独奏用作品に限る。

*出版されているものに限る。

*内部奏法等を含んだ作品は除く。

*(a), (b)とも、7分以上とする。複数の曲でも可。

*ソナタの楽章の抜粋や、組曲からの抜粋は可。

*変奏曲の抜粋は不可。

*繰り返しは自由。

*時間の都合により、一部省略させることがある。

(2) <歌曲伴奏を主に研究する>

次の(a), (b)を演奏すること。

(a) 下記の歌曲(I),(II)から選択して12分程度のプログラムを共演者と演奏すること。

(I),(II)それぞれから1曲以上含むこと。

(I)

F.Schubert : Der Musensohn ミューズの子 D.764 (op.92-1)
Auf dem Wasser zu singen 水の上で歌う D.774 (Op.72)
Im Frühling 春に D.882 (op.101-1)

R.Schumann : Der Nussbaum くるみの木 Op.25-3
Erstes Grün 新緑 Op.35-4
Mondnacht 月夜 Op.39-5

J.Brahms : Meine Liebe ist grün 私の恋は緑にもえ Op.63-5
Wir wandelten 私たちはそぞろ歩いた Op.96-2
Auf dem Kirchhofe 教会墓地にて Op.105-4

R.Strauss : Ständchen セレナード Op.17-2
Heimliche Aufforderung ひそやかな誘い Op.27-3
Morgen 明日 Op.27-4

C.Debussy : Mandoline マンドリン
Green 水彩画 1: グリーン

(II)

F.Schubert : Rastlose Liebe 憩いなき恋 D.138 (Op.5-1)

R.Schumann : Aufträge ことづて Op.77-5

J.Brahms : Botschaft ことづて Op.47-1

R.Strauss : Cécilie ツェツィーリエ Op.27-2

中田 喜直 : サルビア

團 伊玖磨 : 紫陽花

- (b) F.Chopin : Etudes Op.10、 Op.25 より任意の1曲
(ただし Op.10-6 と Op.25-7 は除く)

※(b)は暗譜で演奏すること。
※時間の都合により、一部省略させることがある。

(3) <コレペティツィオンを主に研究する>

次の(a), (b), (c) を演奏すること

- (a) W.A.Mozart : 任意の Piano Sonata より 第1楽章 (繰り返しは省略すること)
(b) G.Puccini : La Bohème より 第2幕冒頭から 練習番号8まで (Ricordi 版)
(c) R. Wagner : Tristan und Isolde P.189 2段目1小節から P.209 3段目2小節まで。
ページは Peters 版による。

*(a)は暗譜で演奏すること。
*(b), (c) はオーケストラパート(ヴォーカルスコアのピアノパートで構わない)を演奏すること。
*時間の都合により、一部省略させることがある。
*譜めくりの同伴は認めないので、1人で演奏可能なように準備すること。

◇弦楽器コース

<ヴァイオリン>

以下の(1), (2), (3) を暗譜で演奏する。(3)の伴奏者は、各自で同伴すること。

- (1) J.S.Bach : 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ (BWV 1001, 1003, 1005) より任意の1曲
第1楽章と第2楽章
(2) N.Paganini : 24 のカプリス 作品1 より任意の1曲
(3) 任意のヴァイオリン協奏曲1曲より第1楽章 (カデンツァがあるものはそれを含む。)

<ヴィオラ>

以下の(1), (2) を暗譜で演奏する。(2)の伴奏者は、各自で同伴すること。

- (1) J.S. Bach : 無伴奏パルティータ (BWV 1002, 1004, 1006)、無伴奏ソナタ (BWV 1001, 1003, 1005)、チェロ組曲 (BWV 1007-1012) より任意の1曲。いずれも緩急2つの楽章。
(2) 以下の協奏曲より任意の1曲
- | | | |
|-----------------|--------------|---|
| F.A.Hoffmeister | : D-dur | 第1楽章 (カデンツァ付き) |
| C.Stamitz | : D-dur op.1 | 第1楽章 (カデンツァ付き) |
| B.Bartók | | : 第1楽章 または 最終楽章 |
| P.Hindemith | | : 白鳥を焼く男 (Der Schwanendreher) 第1楽章 または 最終楽章 |
| W.Walton | | : 第1楽章 または 最終楽章 |

<チェロ>

以下の(1), (2), (3) を暗譜で演奏する。(2)(3)の伴奏者は、各自で同伴すること。

(1) J.S.Bach : 無伴奏チェロ組曲 (BWV 1007-1012) より任意の1曲

いずれもプレリュード、サラバンド、ジークとする。

(2) J.Haydn : チェロ協奏曲 第2番 D-dur より 第1楽章 (カデンツァ付き)

(3) 自由曲 (ただし演奏時間は10分以内とする)

<コントラバス>

以下の協奏曲から任意の1曲 (全楽章) を暗譜で演奏する。伴奏者は、各自で同伴すること。

K. D. Dittersdorf : No.2 E-dur Kr.172 (H. Gruber Cadenzas)

J. B. Vanhal : D-dur (H. Gruber Cadenzas)

D. Dragonetti : A-dur

G. Bottesini : No.2 b-moll

S. Koussevitzky : fis-moll

◇声楽コース

暗譜で演奏する。伴奏者は、各自で同伴すること。

以下の(1)と(2)を提出し、(1)の2曲、(2)の中から当日指定された2曲を演奏する。

(1) アリア (オラトリオ、コンサート・アリアを含む) 1曲と歌曲1曲、計2曲。

(2) アリア (オラトリオ、コンサート・アリアを含む) 2曲と歌曲2曲、計4曲。

(提出曲(2)について、オペラ研究分野志望者はアリアのみ4曲、歌曲研究分野志望者は歌曲のみ4曲でもよい)

*提出曲6曲は、2ヶ国語以上の作品とする。

*アリアは原調・原語。ただし、慣習的に認められている移調、言語に関してはこの限りではない。

*歌曲は原語で、移調可。

*曲名は原語で記入すること。

*前奏・間奏・後奏は省略可。

*各曲の演奏時間を「受験曲目票」に記入すること。

10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付

1) 発表日

2019年11月13日(水) 午前11時予定

2) 発表方法

合格者の「受付番号」を本学ホームページで発表する。

3) 書類の交付

合格者には、入学手続書類 (合格者心得) を同日に速達で送付する。

11. 入学の条件

- 1) 指定の期日までに所定の入学手続きを完了していること。
- 2) 出願時に「2020年3月卒業見込み」であった者は、卒業を認定されていること。
なお、本学以外からの受験者は、2020年3月末日までに、卒業証書のコピーを本学に郵送すること。
- 3) 願書提出時に学位授与機構に学士の学位を申請していた者は、学位を授与されていること。
なお、この場合は、2020年3月末日までに、学位記のコピーを本学に郵送すること。

12. 入学手続について

- 1) 入学手続の方法：書類の提出は郵送のみとする。
- 2) 入学手続の期限：**2019年11月18日（月）～11月29日（金）必着**
- 3) 提出書類等（予定）：
 1. 「入学手続納付金払込用紙」の副票
 2. 誓約書（本学が指定する用紙）
 3. 身元保証書（本学が指定する用紙）
 4. 学籍台帳（本学が指定する用紙）
 5. 写真（タテ4cm×ヨコ3cm）
 6. 住民票（本人のみ記載のもの）または住民票記載事項証明書1通

13. 入学金・授業料等について

内容	金額	備考
1. 入学金	350,000円 *150,000円	入学時のみ *印は桐朋学園大学を卒業した者及び卒業見込の者の金額
2. 授業料	1,200,000円	年額、半期毎に納入する
3. 施設設備費	150,000円	年額、半期毎に納入する
4. 運営維持費	100,000円	年額、半期毎に納入する

(注) 入学手続時には、1. と 2.3.4. の半額を納入する。
(合計 1,075,000 円 又は 本学卒業生は 875,000 円)

カリキュラムについて

カリキュラム・ポリシー

修士課程は音楽専攻のもとにピアノ、弦楽器、声楽、作曲、音楽学の5コースを置き、専攻としてのカリキュラム・ポリシーを以下の通り定める。

大学院音楽研究科は、音楽実践に不可欠な高度な能力を習得し、自立した音楽活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。その目的のために、各コースの特質に適合した、以下の教育課程を編成している。
修士課程は2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技あるいは実習・演習等を履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。学位審査は、修了演奏および研究レポートの審査によって行われ、合格者は修士（音楽）の学位を授与される。

また、各コースは、上記ポリシーを実現するために独自のカリキュラム・ポリシーを定める。

◇ピアノコース

学士教育をさらに発展させながら、高度な技術と豊かな芸術性を持ったピアニストを育成する。個人レッスンやアンサンブルにおけるグループごとの個別レッスンも多く用意し、総合演習などの授業と合わせて、芸術的感性と論理的な知性を深め、専門性の高い音楽家への道を導く。

目標を完全なものとするために、ピアノコースでは、1年次における中間発表、2年次における修了演奏で舞台での実践を踏み、その研究成果を問うことになる。

◇弦楽器コース

学士教育をさらに発展させながら、より高度なレベルで演奏家としての能力を向上させる。そのために必要な実践的、理論的な専門性を持った研究を展開する。個人レッスンやアンサンブルにおけるグループごとの個別レッスン等も用意し、総合演習などの授業と合わせて、芸術的感性と論理的な知性を深め、専門性の高い音楽家への道を導く。

目標を完全なものとするために、弦楽器コースでは、1年次における中間発表、2年次における修了演奏で舞台での実践を踏み、その研究成果を問うことになる。

◇声楽コース

学士教育をさらに発展させながら、オペラ研究分野、歌曲研究分野を置き、高度な専門性を有した研究を実施するとともに、豊かな芸術性を育む。各自の研究分野について豊かな演奏実践を経験させるとともに、総合演習などの授業と合わせて、芸術的感性と論理的な知性を深め、専門性の高い音楽家への道を導く。

目標を完全なものとするために、声楽コースでは、オペラ研究分野は1年次にオペラ抜粋の試演会、2年次にはオペラ試演会のほか修了演奏が、歌曲研究分野は1年次に歌曲等の中間発表、2年次は修了演奏で舞台での実践を踏み、その研究成果を問うことになる。

◇作曲コース

学士教育をさらに発展させながら、高度な作曲法の体得と現代を含む作曲家の作品の緻密な分析を展開し創作を発展に導く。作品発表も積極的に行い実践においても更なる向上を目指す。

目標を完全なものとするために、作曲コースでは、1年次における作品提出、2年次における修了作品の提出により、その研究成果を問うことになる。

◇音楽学コース

学士教育をさらに発展させながら、現代にふさわしい多面的な視点と精緻な実証性を備えた研究を展開する。国際的な成果の達成に向けて、外国語及び日本語文献の精読を徹底するとともに、豊富な発表機会を設け、音楽大学ならではの芸術的感性と学者としての高度な論理性を両立させた専門性の高い音楽学者の道へと導く。

目標を完全なものとするために、音楽学コースでは、1年次、2年次ともに中間発表を行い、最終的な成果である修士論文作成に向かうことになる。

学位及び資格

授業科目および単位

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必	選				必	選
専門科目	領域実技①(a)	1 前	2		関連科目	総合演習 A (a)	1・2 前		2
	領域実技①(b)	1 後	2			総合演習 A (b)	1・2 後		2
	領域実技②(a)	2 前	2			総合演習 B (a)	1・2 前		2
	領域実技②(b)	2 後	2			総合演習 B (b)	1・2 後		2
	修了研究 (a)	2 前	1			総合演習 C (a)	1・2 前		2
	修了研究 (b)	2 後	1			総合演習 C (b)	1・2 後		2
	声楽特殊研究 A①(a)	1 前		1		総合演習 D (a)	1・2 前		2
	声楽特殊研究 A①(b)	1 後		1		総合演習 D (b)	1・2 後		2
	声楽特殊研究 A②(a)	2 前		1		論文演習 (a)	2 前		1
	声楽特殊研究 A②(b)	2 後		1		論文演習 (b)	2 後		1
	声楽特殊研究 B①(a)	1 前		1		作品分析特講 A (a)	1・2 前		2
	声楽特殊研究 B①(b)	1 後		1		作品分析特講 A (b)	1・2 後		2
	声楽特殊研究 B②(a)	2 前		1		作品分析特講 B	1・2 後		2
	声楽特殊研究 B②(b)	2 後		1		作品分析特講 C (a)	1・2 前		2
	歌曲演習 I (a)	1・2 前		2		作品分析特講 C (b)	1・2 後		2
	歌曲演習 I (b)	1・2 後		2		作品分析特講 D (a)	1・2 前		2
	歌曲演習 II	1・2 前		2		作品分析特講 D (b)	1・2 後		2
	歌曲演習 III	1・2 後		2		作品分析特講 E (a)	1・2 前		2
	台本研究	1・2 後		2		作品分析特講 E (b)	1・2 後		2
	器楽特殊研究 A①(a)	1 前		1		作品分析特講 F (a)	1・2 前		2
	器楽特殊研究 A①(b)	1 後		1		作品分析特講 F (b)	1・2 後		2
	器楽特殊研究 A②(a)	2 前		1		作品分析特講 G (a)	1・2 前		2
	器楽特殊研究 A②(b)	2 後		1		作品分析特講 G (b)	1・2 後		2
	器楽特殊研究 B①(a)	1 前		1		音楽学特別研究①(a)	1 前		2
	器楽特殊研究 B①(b)	1 後		1		音楽学特別研究①(b)	1 後		2
	器楽特殊研究 B②(a)	2 前		1		音楽学特別研究②(a)	2 前		2
	器楽特殊研究 B②(b)	2 後		1		音楽学特別研究②(b)	2 後		2
	器楽特殊研究 C①(a)	1 前		1		音楽学特殊研究 A①(a)	1 前		2
	器楽特殊研究 C①(b)	1 後		1		音楽学特殊研究 A①(b)	1 後		2
	器楽特殊研究 C②(a)	2 前		1		音楽学特殊研究 A②(a)	2 前		2
	器楽特殊研究 C②(b)	2 後		1		音楽学特殊研究 A②(b)	2 後		2
	歌曲伴奏研究①(a)	1 前		1		音楽学特殊研究 B①(a)	1 前		2
歌曲伴奏研究①(b)	1 後		1	音楽学特殊研究 B①(b)	1 後		2		
歌曲伴奏研究②(a)	2 前		1	音楽学特殊研究 B②(a)	2 前		2		
歌曲伴奏研究②(b)	2 後		1	音楽学特殊研究 B②(b)	2 後		2		
				エディション研究特講 (a)	1・2 前		2		
				エディション研究特講 (b)	1・2 後		2		
				原書講読 (独) (a)	1・2 前		2		
				原書講読 (独) (b)	1・2 後		2		
				原書講読 (仏) (a)	1・2 前		2		
				原書講読 (仏) (b)	1・2 後		2		
				原書講読 (英) (a)	1・2 前		2		
				原書講読 (英) (b)	1・2 後		2		
				音楽文献研究	1・2 前		2		

◎ 修了要件及び履修方法等

- ・ 専門科目の必修 10 単位、関連科目の総合演習 8 科目から毎学期 1 科目ずつ合計 4 科目 8 単位を選択必修、その他の専門科目・関連科目の中から 12 単位以上、合計 30 単位以上修得し、修了レポート及び修了演奏の審査に合格すること。修了認定者には、修士（音楽）の学位を授与する。
- ・ 高等学校教諭一種免許状（音楽）及び中学校教諭一種免許状（音楽）取得者で、教科に関する専門科目を 24 単位以上修得し、修了した者（修了見込者を含む）に限り、修了時に高等学校教諭専修免許状（音楽）及び中学校教諭専修免許状（音楽）取得の申請ができる。

大学院音楽研究科 修士課程 指導陣（2019 年度－参考）

専門／職名	氏名
学長	梅津 時比古
ピアノ	新井 博江、川島 伸達、小森谷 泉、斎木 隆、清水和音、中井 恒仁、練木 繁夫、 広瀬 康、村上 弦一郎、廻 由美子、朴 久玲、吉村 真代、川村 文雄 青柳 晋、有森 直樹、有吉 亮治、今井 彩子、上野 久子、江澤 聖子、大西 真由子、 大伏 啓太、岡本 美智子、金子 恵、河村 晋吾、木村 徹、紅林 こずえ、 清水 由香里、須田 眞美子、高田 匡隆、高橋 多佳子、竹内 啓子、田部 京子、 玉置 善己、鶴園 紫磯子、二宮 裕子、沼澤 淑音、野島 稔、三上 桂子、三輪 郁、 山崎 牧子、山田 富士子、楊 麗貞、吉武 優、若林 顕、渡邊 康雄、 （コレペティツィオン）田島 亘祥 （歌曲伴奏）星野 明子 （器楽特殊研究）武田 美和子
ヴァイオリン ・ ヴィオラ	景山 誠治、加藤 知子、久保田 巧、豊田 弓乃、堀 正文、神谷 美千子 池田菊衛、石井 志都子、磯 恒男、伊藤 亮太郎、磯村 和英、漆原 啓子、 恵藤 久美子、岡田 伸夫、木野 雅之、久保 良治、佐々木 亮、篠崎 功子、 篠崎 史紀、清水 高師、清水 醍輝、鈴木 康浩、辰巳 明子、田中 晶子、 店村 真積、徳永 二男、戸田 弥生、豊嶋 泰嗣、原田 幸一郎、 藤原 浜雄、水谷 晃、山口 裕之、和波 孝禧
チェロ	毛利 伯郎、長谷川 陽子 岩崎 洸、音川 健二、上村 昇、荻田 雅治、菅野 博文、菊地 知也、木越 洋、 北本 秀樹、倉田 澄子、堤 剛、銅銀 久弥、古川 展生、松波 恵子、山崎 伸子
コントラバス	市川 雅典、石川 滋、稲川 永示、西田 直文、本間 達朗
声楽	大島 幾雄、大橋 ゆり、谷 茂樹、腰越 満美、宮本益光 落合 美和子、木村 俊光、駒井 ゆり子、里中 トヨコ、篠原 百合乃、藺田 真木子、 竹村 靖子、丹藤 麻砂美、塚田 裕之、友清 崇、長尾 康世、半田 美和子、 藤川 泰彰、牧川 修一、松井 康司、安井 陽子、与那城 敬 （オペラ、歌曲）梅津 時比古、三浦 安浩、關根 壽代、 太田 朋子、岸本 力、村上 寿昭、高松 美保
作曲理論	金子 仁美、鈴木 輝昭、土田 英介、法倉 雅紀、鈴木 純明
音楽学	塚田 健一、西原 稔、沼野 雄司、安田 和信

特待生および奨学金制度、学生会館について

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技等の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・授業料・運営維持費などを一部または全額免除する。

奨学金制度

経済的な理由により就学が困難な者を対象に、奨学金制度を設けている。

◎ 桐朋学園音楽部門奨学金

向学心をもちつつも、経済的理由で就学が困難な学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回（9月末）給付する。原則として、日本学生支援機構奨学金（第一種）の算出基準に準拠、実状を考慮し決定する。

◎ 宗次徳二桐朋学園大学大学院特待奨学金

入学試験の成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付することをもって、次世代の音楽界を担うことが期待される大学院生の教育を支援することを目的としている。

対象者：修士課程1名、博士後期課程1名

給付額：年間120万円（入学から修了〔標準修了年限〕までとする）

◎ 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金「江崎スカラシップ」

次世代の音楽界を担うことが期待される桐朋学園大学大学院、桐朋学園大学、同大学ディプロマ・コース、桐朋学園大学院大学のピアノを専攻する学生に留学支援することを目的としている。

支給人数：原則2名まで

給付額：1人500万円（ただし、1度限り）

学生会館

自宅通学が困難な女子学生のために、調布駅より徒歩約15分の場所に学生会館を用意している。＜問い合わせ：学生支援課＞

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額78,000円
その他	入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。

学生募集要項全般に関する問い合わせ先

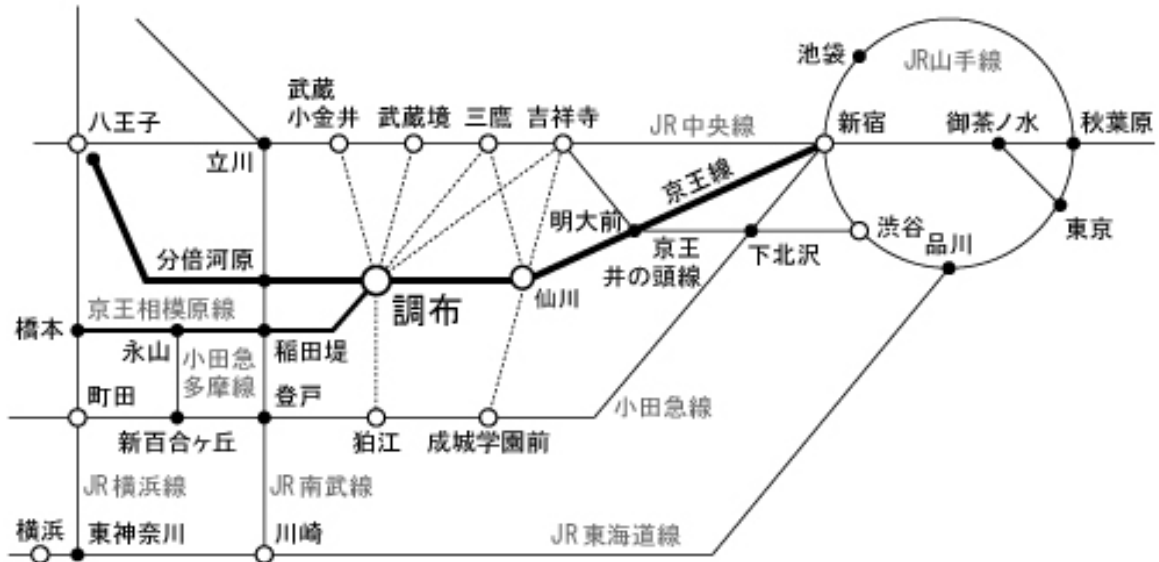
桐朋学園大学 事務局 教務課（入試係）

Tel : 03-3307-4122 E-mail : exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間（日・祭日は除く）：月～土：午前8時30分～午後4時30分

交通機関案内図

京王線調布駅〔新宿から特急で約16分〕下車、徒歩10分



京王線以外からのルート

●小田急線「狛江」駅発 (バスの所要時間約 20 分)

小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス下車 徒歩 10～12 分

●JR 中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発 (バスの所要時間約 30～40 分)

小田急バス 「調布駅北口」行き (吉祥寺、三鷹、武蔵境)
京王バス 「調布駅北口」行き (武蔵小金井)
「調布駅北口」バス下車 徒歩 10 分

◆調布キャンパス

調布キャンパス 1 号館

〒182-0021
東京都調布市調布ヶ丘1-10-1

TEL : 042-444-7055

【交通案内】

・京王線「調布」駅より 徒歩10分

